

# コスチュームジュエリー

シャネル、ディオール、スキャパレリ 美の変革者たち  
小瀧千佐子コレクションより

「これは、偽りなく美しい“ニセモノ”のジュエリー」——あえて本真珠と模造パールをあわせて身につけた、ガブリエル・シャネルの言葉です。彼女にとって、素材が何であれ、デザインやスタイルにこそ真の価値があることを表しています。

コスチュームジュエリーとは、宝石や貴金属を用いず、ガラスや貝、樹脂など多種多様な素材で制作されるファッションジュエリー。素材から解放され自由なデザインを提案できるコスチュームジュエリーを、20世紀初頭のポール・ポワレが先駆けとなり、以降シャネルやディオール、スキャパレリなどフランスのオートクチュールのデザイナーたちがこぞって取り入れました。やがてヨーロッパ、そして戦後はおもにアメリカで、コスチュームジュエリーは広く普及し、当時の女性たちに装う楽しみだけではなく、生きる活力、自由や自立の精神をもたらしました。

本展は20世紀初めから戦後に至るコスチュームジュエリーの歴史的展開を紹介する、日本初の展覧会です。小瀧千佐子氏による世界的に希少なコレクションからジュエリー約450点と、当時のドレスやファッション雑誌などの関連作品を通して、その魅力をご堪能ください。

展覧会名 | コスチュームジュエリー 美の変革者たち シャネル、ディオール、スキャパレリ  
小瀧千佐子コレクションより

会 期 | 2024年4月26日（金）－6月30日（日）[57日間]

開館時間 | 10:00－18:00 金曜日は20:00まで（入館は閉館の30分前まで）

休 館 日 | 毎週月曜日（ただし4月29日（月・祝）と5月6日（月・振休）は開館）、  
4月30日（火）、5月7日（火）

会 場 | 愛知県美術館（愛知芸術文化センター10階）〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2  
美術館ウェブサイト <https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

展覧会公式ウェブサイト <https://www.ctv.co.jp/costumejewelry-aichi/>

アクセス | 地下鉄東山線・名城線「栄」駅／名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、  
オアシス21連絡通路利用徒歩3分

チケット | 一般1,800（1,600）円  
高校・大学生1,200（1,000）円  
中学生以下無料

※（ ）内は前売券および20名以上の団体料金です。

※上記料金で本展会期中に限りコレクション展もご覧になれます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳（愛護手帳）、特定医療費受給者証（指定難病）のいずれかをお持ちの方は、各券種の半額でご観覧いただけます。また付き添いの方は、各種手帳（「第1種」もしくは「1級」）または特定医療費受給者証（指定難病）をお持ちの場合、いずれも1名まで各券種の半額でご観覧いただけます。当日会場で各種手帳（ミライロID可）または特定医療費受給者証（指定難病）をご提示ください。付き添いの方はお申し出ください。

※学生の方は当日会場で学生証をご提示ください。

主 催 | 愛知県美術館、中京テレビ放送 監 修 | 小瀧千佐子

特別協力 | ウィリアム・ウェイン（コスチュームジュエリー研究家／イギリス、ロンドン）

学術協力 | ディアンナ・ファルネッティ・チーラ（コスチュームジュエリー研究家／イタリア、ミラノ）

協 力 | chisa、株式会社世界文化社 企画協力 | 株式会社キュレイターズ

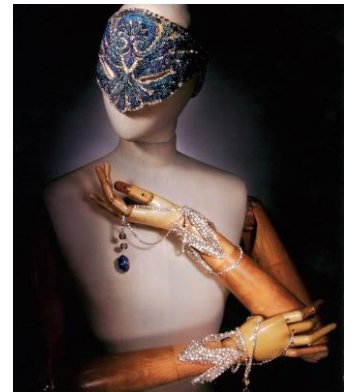
後 援 | 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

問合せ先 | 愛知県美術館 TEL 052-971-5511（代）

## みどころ

### ■ コスチュームジュエリーを取り上げた、日本初の展覧会

コスチュームジュエリーの研究者・コレクターである小瀧千佐子氏が、長い年月をかけて収集したコスチュームジュエリーを展示します。その数は約 450 点に上り、世界的にも希少なコレクションです。近年日本ではファッションに関する展覧会が頻繁に開催されるようになりましたが、その多くはドレスが主役です。コスチュームジュエリーに焦点を当て包括的にご紹介する展覧会は今回が日本初であり、1 点もの、あるいはごく少数しか制作されなかったコスチュームジュエリーが一堂に会す貴重な機会です。シャネルやディオール、イヴ・サンローランなどよく知られているフランスのオートクチュールのファッションデザイナーから、サルバドール・ダリやマン・レイなどシュルレアリストと親交を結んだエルザ・スカパレリ、日本で初めて紹介されるジュエリー・デザイナー、コッポラ・エ・トッポやリン・ウォートランなどによる、見ごたえのあるジュエリーが数多く展示されます。



ポール・ボワレ《夜会用マスク、ブレスレット“深海”》(制作：マドレーヌ・パニゾン)  
1919 年、メタリックチュールにガラスビーズとクリスタルガラスで刺繍、小瀧千佐子蔵

### ■ パリのオートクチュールからヨーロッパ、アメリカまで、コスチュームジュエリーの歴史的展開を辿る

コスチュームジュエリーの歴史は、20 世紀初頭にパリのファッションデザイナーであるポール・ボワレが先駆けとなり、その後シャネルやスカパレリ、ディオールなど名だたるオートクチュールのデザイナーたちが取り入れたことに始まりました。やがて需要が高まると、ヨーロッパ各地でコスチュームジュエリーの制作を専門にする工房が生まれ、職人の高度な技術がジュエリーの美しいデザインを支えました。そして戦後、プレタポルテや大量生産の既製服といったマスプロダクションのファッションが主流となり、より量産体制を確立したアメリカで、コスチュームジュエリーは広く普及します。ヨーロッパとは異なり宝飾文化がなかったアメリカでは大変ユニークなデザインが数多く誕生しました。衣服に加えコスチュームジュエリーの登場によって、各々、より自由にスタイルを選択できるようになった歴史から、ファッションは自己を豊かに表現するため重要な手段であるというメッセージを読み取ることができるでしょう。



シャネル《ネックレス“花”モチーフ》(制作：メゾン・グリボワ)  
1938 年、パート・ド・ヴェール・エナメル ガラス、メタル、個人蔵

### ■ ドレスや香水瓶、ファッション雑誌など、愛知県美術館限定の出品作品

本展は昨年 12 月に東京のパナソニック汐留美術館から始まった巡回展（その後京都、愛知、宇都宮、北海道に巡回）です。愛知県美術館では広い展示スペースを活かして、コスチュームジュエリーのほかにポール・ボワレ、シャネルやディオール、イヴ・サンローランなどのドレスやスーツを展示します。ドレスに合わせてコーディネートしたコスチュームジュエリーをともに展示する試みもみどころの一つです。さらに香水瓶やファッション雑誌、ファッションプレート（ファッション雑誌などの挿絵・図版）といった充実した関連資料を通して、コスチュームジュエリーやそのデザイナーを多角的に紹介します。

## 関連イベント

### 記念講演会①

「コスチュームジュエリー 美の変革者たち—シャネル、ディオール、スキャパレリ」

〔日時〕 5月18日（土）13:30-15:00（13:00 開場）

〔講師〕 小瀧千佐子（本展監修者、コスチュームジュエリー研究家）

〔会場〕 アートスペース A（愛知芸術文化センター12階）

〔定員〕 180名

※聴講無料（ただし本展の観覧券が必要です）

※事前申込不要



ムラーノガラス、ヴェネチアンビーズ、コスチュームジュエリーの研究家・コレクター、コレクター歴は約40年。1983年日本で初めてムラーノガラスの専門店をオープン。2014年、東京の北参道にてクリエイティブディレクターをつとめるショップ・ブランド「chisa」をスタート、美しい文化とともに暮らすライフスタイルを提案する。コレクションによる展覧会の監修「ヴェネツィアンビーズとコスチュームジュエリー展」（2005年、全国巡回）、「小瀧千佐子コレクション 旅するヴェネチアンビーズ」（2015年、町田市立博物館）ほか多数。著書『別冊太陽 ヴェネツィアンビーズ』（2001年 平凡社）、テレビ出演NHK「美の壺」（2011年）など。

### 記念講演会②

「シャネルの好敵手 エルザ・スキャパレリ  
—ファッション／アート／哲学—

〔日時〕 6月1日（土）13:30-15:00（13:00 開場）

〔講師〕 森美樹（愛知県美術館主任学芸員）

〔会場〕 アートスペース A（愛知芸術文化センター12階）

〔定員〕 180名

※聴講無料（ただし本展の観覧券が必要です）

※事前申込不要



スキャパレリ《ネックレス“葉”》  
（デザイン／制作：ジャン・クレモン）1937年頃、クリアエナメル彩メタル、メタルメッシュ、個人蔵

### ワークショップ「ヴェネチアンガラスのネックレス」

本展監修者小瀧千佐子氏が主宰するセレクトショップ「chisa」より、ヴェネチアンガラスのビーズでオリジナルのネックレスを制作。

① 5月19日（日）11:00-

② 5月19日（日）14:00-

【講師】小瀧千佐子（本展監修者、コスチュームジュエリー研究家）

【会場】アートスペース EF（愛知芸術文化センター12階）

【定員】各回30名

※参加料：材料費として①5,000円、②10,000円を当日お支払いください。

※要事前申込。お申込みはこちら。

<https://ctv.sign-post.jp/ctv/form/6adc850d-8bcb-428a-bc38-0c34c2952f90.html>

#### ① Aタイプ



#### ① Bタイプ



#### ② Cタイプ



#### ② Dタイプ



### スライドトーク（学芸員による展示説明会）

【日時】5月12日（日）11:00-11:40、5月28日（火）13:30-14:10

5月31日（金）18:30-19:10、6月8日（土）11:00-11:40

【会場】アートスペース EF（愛知芸術文化センター12階）

【定員】各回先着60名

※申込不要・聴講無料。開始時刻に会場にお集まりください。

## 「コスチュームジュエリー」広報用画像申込書

### ※ご掲載にあたっての注意事項

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的としたものに限らせていただきます。ご使用可能期間は本展覧会終了までです。
- ・ご使用の際は下記のキャプション情報（作家名、作品名、所蔵者名、画像クレジット等）を全てご掲載ください。
- ・画像は全て全図でご使用ください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・展覧会情報の確認のため、校正原稿を以下の問い合わせ先に FAX またはメールでお送りください。
- ・掲載誌（紙）、録画 DVD 等を事務局宛に 1 部ご惠贈願います。ウェブ媒体の場合は掲載 URL をお知らせください。

媒体名： \_\_\_\_\_

ジャンル： \_\_\_\_\_

掲載・放送予定日： \_\_\_\_\_

貴社名： \_\_\_\_\_

ご担当者名： \_\_\_\_\_

E-mail： \_\_\_\_\_

所在地：〒 \_\_\_\_\_

電話： \_\_\_\_\_

### 問い合わせ先／校正原稿等の送付先

展覧会に関するお問い合わせ

愛知県美術館（担当：森、塩津）

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

TEL: 052-971-5511（代）／FAX: 052-971-5604

E-mail: art11@aac.pref.aichi.jp

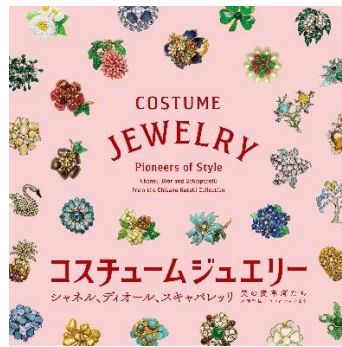
### 問い合わせ先／ワークショップについて

コスチュームジュエリー実行委員会事務局

中京テレビ放送 イベント事業グループ

052-588-4466（平日 10：00～17：00）

「コスチュームジュエリー」 広報用画像



メインビジュアル（会期会場有 ver.）

メインビジュアル（タイトルのみ ver.）



1



2



3



4



5



6



7



8

1. ポール・ポワレ 《夜会用マスク、ブレスレット“深海”》（制作：マドレーヌ・パニゾン）1919年、メタリックチュールにガラスビーズとクリスタルガラスで刺繍、小瀧千佐子蔵
2. シャネル 《ネックレス“花”モチーフ》（制作：メゾン・グリポワ）1938年、パート・ド・ヴェール・エナメル ガラス、メタル、個人蔵
3. シャネル 《ネックレス“ビザンチンクロス”》（制作：ロベール・ゴッサンス）1960年頃、ガラスビーズ、メタル、小瀧千佐子蔵
4. スキャパレリ 《ネックレス“葉”》（デザイン／制作：ジャン・クレモン）1937年頃、クリアエナメル彩メタル、メタルメッシュ、個人蔵
5. コッポラ・エ・トッポ 《チョーカー“花火”》（デザイン：リダ・コッポラ、制作：コッポラ・エ・トッポ）1968年、クリスタルガラス、ガラスビーズ、ワイヤー、メタル、小瀧千佐子蔵
6. ディオール 《ネックレス、イヤリング》（デザイン：ロジェ・ジャン＝ピエール、制作：ミッチェル・メイヤー）1954年頃、ラインストーン、模造パール、メタル、小瀧千佐子蔵
7. リーン・ヴォートラン 《ブローチ》（デザイン／制作：リーン・ヴォートラン）1948年頃、エナメル彩、金色ブロンズ、個人蔵
8. ロジェ・ジャン＝ピエール 《クリップ》（デザイン／制作：ロジェ・ジャン＝ピエール）1960年代、クリスタルガラス、メタル、小瀧千佐子蔵